

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科／電気工学コース											
英語 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	和泉 周子			実務 経験	有	職種	複数の大学で英語の授業				
担当教員紹介											
授業概要											
キャリアデザイン系の科目で学んだ社会人・組織人としての行動やマナーの基礎をもとに、実践的に社会人としてのマナーや基礎知識、新しい技術の進展に対応できる柔軟な思考と創造性について学ぶ。仕事そのものだけでなく、受け入れ先企業の組織風土や人間関係も含めて総合的に「仕事」について体感することを目的とする。											
到達目標											
キャリアデザイン系の科目で学んだ社会人・組織人としての行動やマナーの基礎をもとに、実践的に社会人としてのマナーや基礎知識、新しい技術の進展に対応できる柔軟な思考と創造性の習得を目指す。インターンシップで企業・社会の仕組みを実体験することで、職業選択の際に役立てることが出来るようになることを目標とする。											
授業方法											
文法の学習を中心に、多種多様な演習問題に取り組むことを通して、四技能(リスニング・スピーキング・ライティング・リーディング)の力を総合的に伸ばします。											
成績評価方法											
試験	100% 入試などと同様に試験のみで成績を決定する										
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。途中退出は目的を明らかにし事前に許可を得ること。授業時間内の飲食は禁止とする。担当教員の許可が無い限り、携帯電話やスマホの使用を禁止する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
English Primer <Revised Edition> 大学生の英語入門<改訂新版>											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス・英語1の復習										
第2回	等位接続詞、時を表す接続詞、理由・条件等を表す接続詞										
第3回	不定詞の名詞的用法、不定詞の形容詞的用法と副詞的用法、動詞の目的語となる動名詞										
第4回	能動態と受動態、受動体の否定文と疑問文、注意すべき受動体										
第5回	現在完了<have＋過去分詞>、過去完了<had＋過去分詞>										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電気工学コース	
英語 2	
第6回	接続詞thatの用法、時制の一致、so～that構文等
第7回	不可疑問文（be動詞、助動詞）、不可疑問文（一般動詞）、間接疑問文
第8回	動詞＋人＋to～の文、疑問詞＋to動詞の原型、too…to～などの構文
第9回	天候・距離・明暗などを表すit、時刻、月日、季節などを表すit、形式主語のit
第10回	現在分詞の用法、過去分詞の用法、主語・補語・前置詞の目的語になる動名詞
第11回	主格の関係代名詞、所有格の関係代名詞、目的格の関係代名詞
第12回	仮定法過去（現在の事実の仮定）、法過去完了（過去の事実の仮定）、その他の仮定法
第13回	授業の前半部分の復習
第14回	授業の後半部分の復習
第15回	期末試験